

ナンバリング	B①03	科目名	発達心理学(講義)
担当形態	単独	担当教員	相磯 友子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②		
テキスト	適宜資料を配布します。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	2単位・講義
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の観点から、特に胎児期～乳幼児期の発達的特徴を理解した上で、子どもの発達と保育実践に関わる基本的知識を習得する。 ・生涯発達という考え方を理解し、説明できる。 ・各時期の発達的特徴を理解し、自分の言葉で説明できる。 ・生涯における乳幼児期の経験の重要性について説明できる。 		
授業の概要	<p>「発達」というと、何かを「獲得する(できるようになる)こと」とイメージしやすいと思いますが、それだけではありません。この授業では、講義を中心に、生涯発達の視点から「発達」の考え方を学びます。また、特に乳幼児期の身体・認知・言語・社会性の発達について学びます。各発達段階の特徴を理解することは、保育者として、一人ひとりの子どもの発達過程に合わせた支援を考える際の基盤になります。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、発達とは、子ども観</p> <p>第2回 発達観、遺伝と環境</p> <p>第3回 発達の理論</p> <p>第4回 胎児期から新生児期の発達</p> <p>第5回 乳幼児期の認知の発達とそれを支える保育</p> <p>第6回 乳幼児期の身体・運動機能の発達とそれを支える保育</p> <p>第7回 乳幼児期の思考の発達とそれを支える保育</p> <p>第8回 乳幼児期の社会性・情動の発達(1)とそれを支える保育</p> <p>第9回 乳幼児期の社会性・情動の発達(2)とそれを支える保育</p> <p>第10回 乳幼児期の自己の発達とそれを支える保育</p> <p>第11回 乳幼児期のことばの発達とそれを支える保育</p> <p>第12回 乳幼児期の仲間関係の発達とそれを支える保育</p> <p>第13回 乳幼児期の遊びの発達とそれを支える保育</p> <p>第14回 児童期の発達</p> <p>第15回 生涯における乳幼児期の重要性</p>		

準備学習と必要時間	毎週 60 分以上は、授業で紹介する資料や本、絵本を読んだり、テレビや動画の視聴を通して事例と結びつけて考えてください。				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの解答 — 70% ・授業での議論・話し合い活動への貢献 — 30% 				
参考文献	授業で適宜示します。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中心ですが議論や話し合い活動を行うこともあるため、授業への積極的な参加を期待します。 ・単位を修得できない場合、発達心理学(演習)は履修できません。 				
課題へのフィードバック方法	ワークシートの解答には適宜コメントを付け、次の授業の冒頭で返却し解説します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育の基礎的理解に関する科目
	その他		保育士資格	必修	保育の対象の理解に関する科目
教員の実務経験					